

### 菅波 茂

●アジア医師連絡協議会 (AMDA) 代表

## 親切の三原則は、世界の常識

すがなみ・しげる ●一九四六年生まれ。医師。AMDA 代表として、大震災後の神戸やサハラでボランティアとして活躍。著書は、「通かなる夢」「ルワンダからの証言」「飛び出せAMDA」ほか。

① a 阪神大震災とサハラ大震災  
b 阪神大震災では、日本中が動いたこと、海外から温かい支援があったこと。サハラ大震災では、「親切、思いやりの心」には国境がないことが証明された。

② a 親切の三原則は、世界の常識  
b 阪神大震災では、日本人たちが何かをしたいと思つた。事実、百万人以上のボランティアが被災者救済活動に従事し、「ボランティア元年」といわれた。パブル経済崩壊による暗い雰囲気吹き飛ばして、「将来に対する自信と希望」を与えた。少子・高齢化社会など数多くの課題を、国民が互いに協力しあつて克服していく基盤ができた。NPO 法案などの整備によつて、この動きは加速されるだろう。

日本は、経済大国として海外援助を実施してきたが、今回、発展途上国の人たちから「バナナを売ったお金を送りたい」といった温かい援助申し込みがあつた。親切とは、お金の額ではなく、タイミングである。「困ったときはお互いさま」という隣近所のおつきあいが、世界的マナーであることが認識された。

サハラ大震災のときに、ロシア側は、最初AMDAの救援活動を拒否した。しかし、阪神大震災被災者に対するロシアの支援へのお返し気持ちであることを伝えると、喜んで受け入れてくれた。

まとめ。世界中のだけれども、他人が困っているときには、何かしてあげたい。その親切には国境がない。ただし、親切を受ける側にもプライドがある。これは、親切の三原則である。

## 産 経 新 聞

平成8年(1996年)2月7日 水曜日

# 「救援活動には水も重要」

### AMDA 講演で援助を訴え



援助活動における水の重要性を強調する菅波代表

本年度の日本水道協会岡山県支部管理職研修会が六日、岡山市表町の岡山シンフォニーホールで開かれ、関連医療NGOの「AMDA」(アジア医師連絡協議会、本部・岡山市)の菅波茂代表が「AMDAと水」と題して講演した。AMDAがさまざまな国や地域で展開している救援活動でも医療のほかに水や土木が重要な位置を占めることを示し、活動への協力を訴えた。

県内各地の自治体などの水道事業管理職約五十人が出席。菅波代表は約一時間にわたり、救援活動の実際を示しながら講演した。

菅波代表は、ルワンダやチエチエン、アンゴラなどの救援プロジェクトで、水が原因でコレラがまん延した事実や、汚れた水を飲料水にして下痢を起し、多くの子供が死んでいることをあげ「きれいな水が確保できないことや、衛生知識がないことが難民の健康状態に悪影響を与えている」と述べた。

また、政府開発援助(OIDA)活動として、今月中旬にアフリカ・ザンビアに向かうことにも触れ、「首都ルサカ周辺のヘルセンター(診療所)の機能充実に果たすためにも、水の状態がどうなっているかは重要な調査項目」とした。

最後に菅波代表は「水のプロとして、地方自治体ODA参加という形を岡山で広げてもらえれば、近い将

来にわたくしたちの医療とポイントプロジェクトが組めるときがくればうれし」と締めくくった。

岡山

は